

徳島大学の先行事例 ～大学共通プラットフォームに向けて～

齊藤 卓也

徳島大学 副学長

TOKUSHIMA-CITY

斉藤 卓也 (さいとうたくや)

国立大学法人 徳島大学 副学長 (平成29年8月～)

神奈川県出身、東京大学工学部電気工学科卒

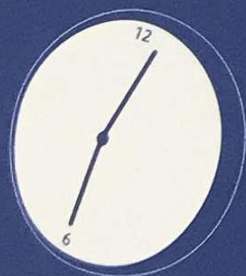


平成7年 科学技術庁入庁

高速増殖炉もんじゅのナトリウム漏えい事故対応、大型放射光施設SPring-8の供用開始、JST基礎研究事業、日本原子力研究所（予算全般。大強度陽子加速施設J-PARC計画の立ち上げ）、東海村臨界事故の対応、原子力安全委員会事務局で原子力安全白書の執筆、米国留学（カリフォルニア大学サンディエゴ校）、放射線障害防止法の大改正（国際原子力機関IAEAの国際基準取り入れ）、放射線源を用いた核テロ対策

- 16年 文部科学省 研究振興局 ライフサイエンス課課長補佐
(感染症国際拠点プロジェクト、ライフサイエンス統合データベースプロジェクトの立ち上げ)
- 18年 外務省 在オーストラリア日本大使館一等書記官 (科学技術、医療、環境担当)
- 21年 文部科学省 科学技術・学術政策局 政策課課長補佐、政策科学推進室長
文部科学省緊急災害対策センター併任 (福島原発事故対応)
- 23年 文部科学省 大臣官房会計課 予算企画調整官
- 25年 文部科学省 大臣官房政策課 評価室長
- 26年 山口内閣府特命担当大臣 (科学技術、IT、知財、クールジャパン) 秘書官
- 27年 文部科学省 研究振興局 基礎研究振興課 基礎研究推進室長
(世界トップレベル研究拠点プログラム (WPI)、JST戦略的創造研究推進事業など)

日本の未来を照らす、
徳島の数値データ一例



18:02

仕事からの平均帰宅時間

全国1位

(H23 社会生活基本調査)

充実したプライベートの時間が
ワークライフバランスを支える

8.15%

女性社長率

全国1位

(H24 帝国データバンク)

※東京は全国10位

6.70%



61.2%

LED出荷金額比率

全国1位

(H24 経済産業省)



1,986人

特別養護老人ホーム待機者数

全国最小

(H26 厚生労働省)

※東京は全国最多

43,384人

88.3%

ケーブルテレビ世帯普及率

3年連続

全国1位

(H26 総務省)

徳島は宣言する
VS東京

※東京は全国4位

80.9%



徳島県には全国に誇れる数値データや、新しい挑戦を続けている人々がいます。

<http://www.vs-tokyo.jp>

詳しくはウェブサイトをご覧ください

本日お伝えしたいこと

- 一般社団法人「**大学支援機構**」を作りました。
- **大学の使命を達成**するため、**大学共通の課題**に対応し**大学経営に寄与**するための組織です。**大きなビジョン**があります。
- そのための一つの手段として、**多くの大学と共有するためのクラウドファンディングの仕組み**を作りました。通常のクラウドファンディングサイトとは少し違います。
- 多くの大学が**一緒に動く必要**があります。**一緒にやりませんか**。ご関心があれば、ぜひご連絡ください。

徳島大学と(社)大学支援機構

徳島大学の理事が出資し、平成28年に『一般社団法人大学支援機構』を設立



研究活動の支援、地域活動の活性化を目指した
サービスを学内外に提供するため、
徳島大学の理事が出資し、法人を設立

設立	昭和24年5月31日
所在地	(本部)徳島県徳島市新蔵町2丁目24番地
学部	総合科学部、医学部、歯学部、 薬学部、理工学部、生物資源産業学部
大学院	総合科学教育部、医科学教育部、口腔科学教育部、 薬科学教育部、栄養生命科学教育部、 保険科学教育部、先端技術科学教育部、 社会産業理工学研究部、医歯薬学研究部
職員数	教員数 1,001名 役員 7名、常勤 1,358名 有期雇用職員 704名 ※ 職員数、学生数は、平成29年5月現在を示す。
学生数	学部学生 5,954名 大学院学生 1,580名
決算規模	約452億円(平成29年度)



設立	平成28年10月3日
所在地	徳島県徳島市新蔵町2丁目24番地
組織	理事長 1名 コーディネーター 3名 システムエンジニア 1名



まずは地元紙(1面トップ)に

徳島

新聞

発行

月曜

2016年(平成28年)10月6日 木曜日

第26070号

徳島新聞 (日刊)



発行所 徳島市中徳島町2丁目
5番地2 (〒770-8572)
徳島新聞社
電話(088)655-7373
©徳島新聞社 2016

2016年(平成28年)
10月6日
木曜日



ネットで資金集め支援

手数料で利益 徳大が法人設立

徳島大が、インターネット上で資金を集めるクラウドファンディングのサービスなどを学内外に提供する一般社団法人「大学支援機構」を設立した。学内や他大学研究者の研究費を集めるほか、学外の人々が地域の課題を解決するために資金集めをする際にも活用してもらう。サービスの利用者を県内だけでなく県外にも広げ、手数料などによる収入で将来的に大学へ利益を還元する仕組みの構築を目指す。

学内外にサービス提供

徳島大が、インターネット上で資金を集めるクラウドファンディングのサービスなどを学内外に提供する一般社団法人「大学支援機構」を設立した。学内や他大学研究者の研究費を集めるほか、学外の人々が地域の課題を解決するために資金集めをする際にも活用してもらう。サービスの利用者を県内だけでなく県外にも広げ、手数料などによる収入で将来的に大学へ利益を還元する仕組みの構築を目指す。

徳島大の役員らが資金を出し合って基金を設け、運営していく。クラウドファンディングサービスの提供から始め、インターネットで外部から研究開発を請け負ったり、特定の仕事を外部に発注したりする「クラウドソーシング」なども視野に入れている。

代表理事には、学長補佐の佐野正孝氏が就任し、野地澄晴学長や高石喜久副学長ら同大役員を中心とした7人が理事に名を連ねた。徳島大では、4月からクラウドファンディングを試行し、学術系のクラウドファンディングサイトを運営する民間会社を利用して教員の研究費用を募ってきた。挑戦した4件全てが目録帳を達成。研究費を得られることも

する機会にもなることなどから、徳島大学発の法人として設置することにした。

機構のクラウドファンディングは10月下旬から始める予定で、第1弾として同大発

豊洲問題 歴代市場巨 小池知事



東京都議会の一般質問で答弁に臨む
小池百合子知事(5日)

全国紙(1面左)でも

国立大研究費ネット調達に本腰

減少する交付金

初の運営組織 徳島大が設立

徳島大学は28日、インターネットを通じて研究者から研究開始費などを募るクラウドファンディングの運営組織を立ち上げたことを明らかにした。国立大では初めてという。医療系の研究などで支援を受けるテーマや金額を決め、月内にも具体的に活動を始め、国から大学への交付金が減る中、新たな資金調達手段となるか注目されている。

個人でも応募しやすいように一口あたりの金額を設定する。事業の収益を分配する「投資型」ではなく、記念品などを贈る「購入型」か、応募者が抽選選出を受けられる「寄付型」にする方向は、応募の多寡を研究論文に反映させることも検討している。

事業を開始するのは、国からの交付金が削減されてきたから。国立大学の収入の3〜4割を占めるが、今年度の国の予算は平成16年度と比べて約1470億円減っている。徳島大の吉岡准教授は

国内のクラウドファンディングの主な成功例

資金の使い道	目標額	実際の調達額
京都大学IPS細胞研究基金の拡充	1000万円	約2030万円
ドキュメンタリー映画「ハーブ&ドロンシ」の製作・公開	1000万円	約1460万円
漫画家・香野真子さんのニューヨーク公演	300万円	約560万円
バドミントンの池田健太郎選手の世界ツアー挑戦	50万円	約250万円
徳島大学の研究室による星の形成プロセス解明	80万円	約460万円

各分野で活用広がる

事業や活動資金を調達したい人が、ネットを通じて賛同者から支援を募るクラウドファンディングは、欧米で十数年前から広まった。日本国内でも映画や音楽など芸術分野で実績があるほか、学術分野で成果が上がる始めている。

京都大学の山中伸弥教授は平成24年、京大IPS細胞研究基金への寄付を募り、目標金額である1千万円の約2倍の約2030万円を調達した。

映画や音楽・iPS研究…

28日には、研究費獲得に特化したクラウドファンディング支援サービス「アカデメント」が始まった。徳島大は、同サービスを使って4件のプロジェクトで資金調達が成功している。

近畿大学は今夏、クラウドファンディング運営大手と提携し、筑波大も卒業生が運営するサービスで、大学関連の研究や活動の支援金を募っている。

大学の研究成果は、収益を生む事業に育てるまでに

朝の詩
どんぐり
東京都渋谷区
今 紀子 75
小池いたは
百田たけと
先生がしゃべった
どうすべ



平成28年(2016) 日刊26519号
10/24[月]
読経新聞(サンケイ)
THE SANKEI SHIMBUN
発行所 C読経新聞社徳島本社 2016
〒690-0000 徳島市美波区美町7-1-57
☎ 大塚(085)6933-1221(大代表)

内閣官房長官記者会見(平成28年10月24日)

(記者)

徳島大学が、ネットを通じて投資家から研究開発費を募るクラウドファンディングの運営組織を立ち上げたことを明らかにしました。

この理由のひとつに、国からの交付金が減額されてきたこともあるようで、組織の設立は国立大学で初めてとなります。

今後の大学の交付金への影響を含めてご所見をお願いします。

(菅官房長官)

大学がこうしたクラウドファンディングを行うことについて、科学技術基本計画においても、大学が機能強化していくにあたって、政府からの資金だけでなく、民間資金など多様な資金を確保していく必要性がうたわれています。

そんな中で、研究者が研究内容を社会に判りやすく説明することで研究内容への社会への理解もこれで深まってくるだろうと思います。

そういう意味で、研究内容そのものが、よりよいものになっていく効果もあるのではないかと考えています。

いずれにせよ、文科省で策定した大学経営戦略において、財源を多元化し、法人としての経営を強力に行っていくことが、きわめて重要と思っており、私はよい効果があるのではないかと思います。

大学の使命

学校教育法（昭和二十二年三月三十一日法律第二十六号）

第九章 大学

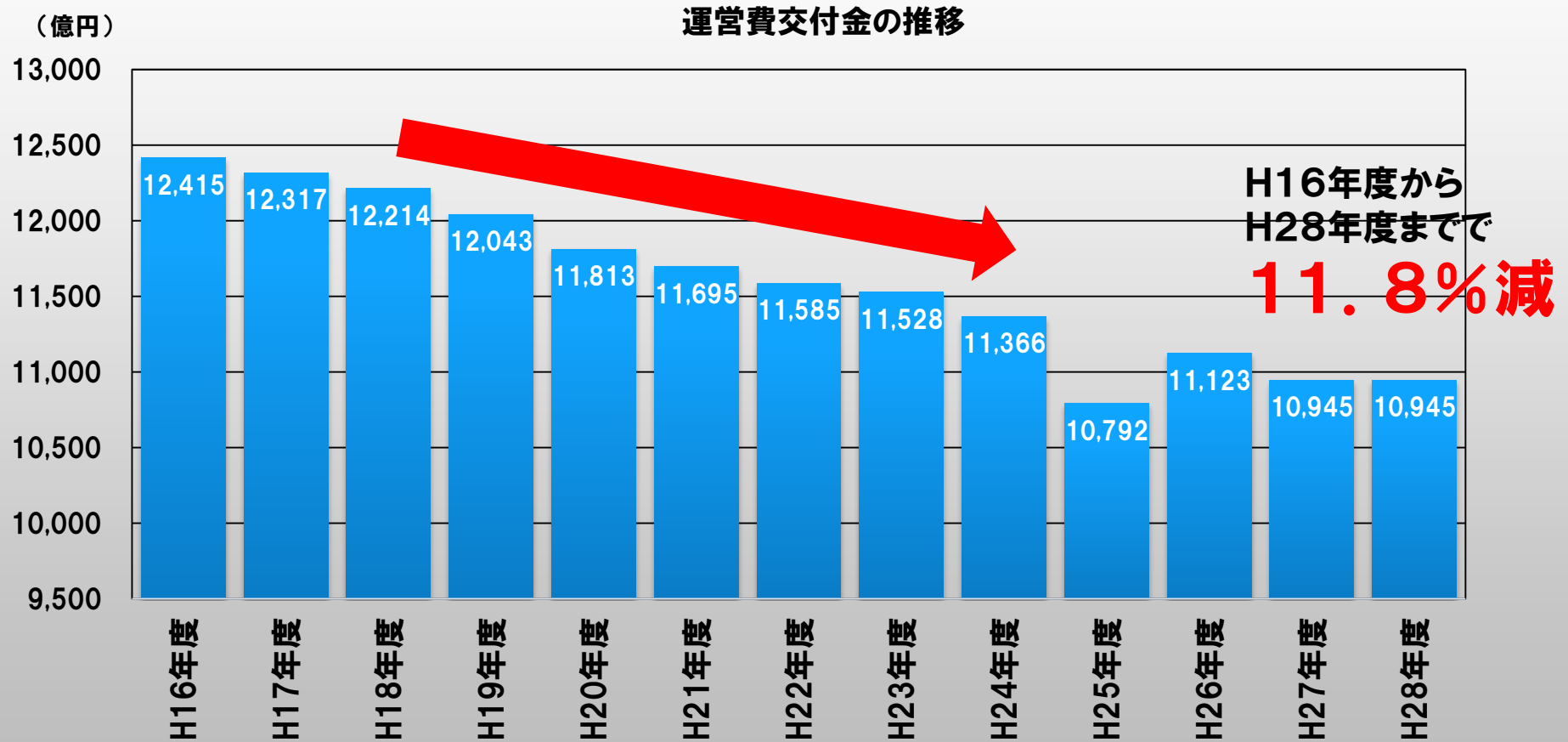
第八十三条 大学は、学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とする。

2 大学は、その目的を実現するための教育研究を行い、その成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与するものとする。（平成19年6月改正で追加）

これらの使命を果たすために、財源（の多様化）が必要

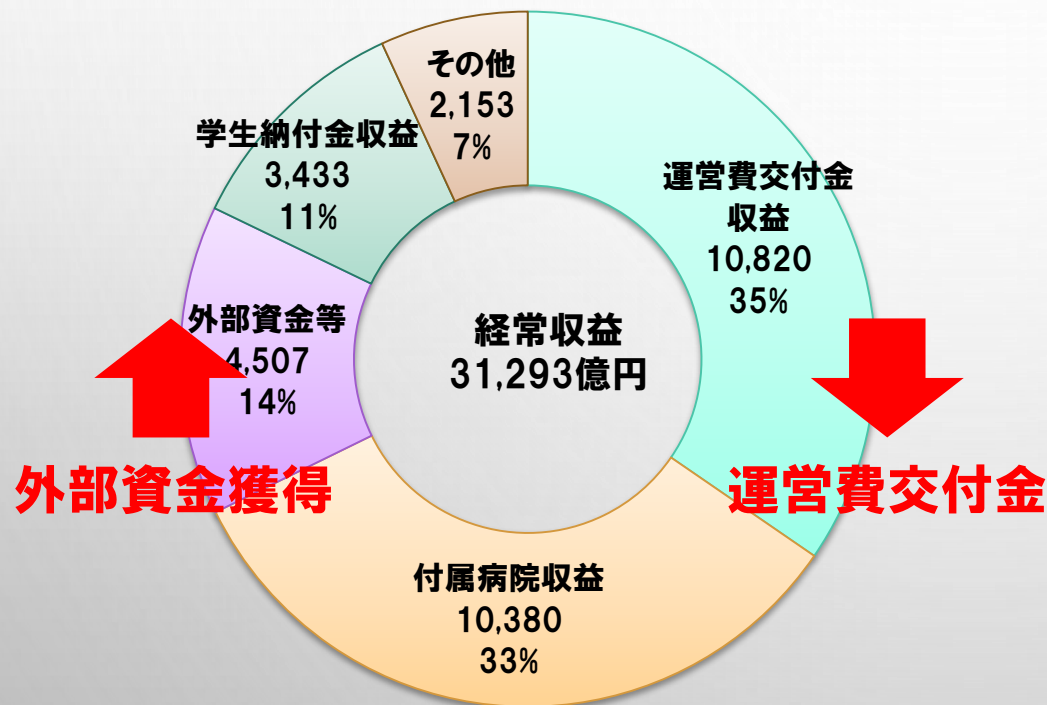
国立大学運営費交付金の推移

東日本大震災の特殊要因を除き、運営費交付金は毎年1%ずつ削減されている。



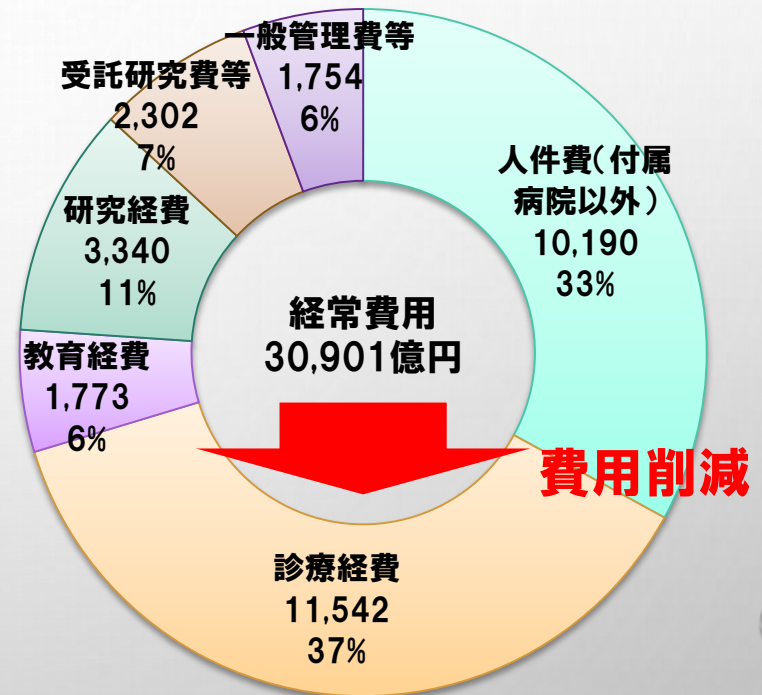
国立大学法人 平成27年度決算状況

平成27年度 経常収益(億円)



※外部資金等は、補助金等収益、受託研究等収益、寄付金収益、研究関連収益の合計額を示す

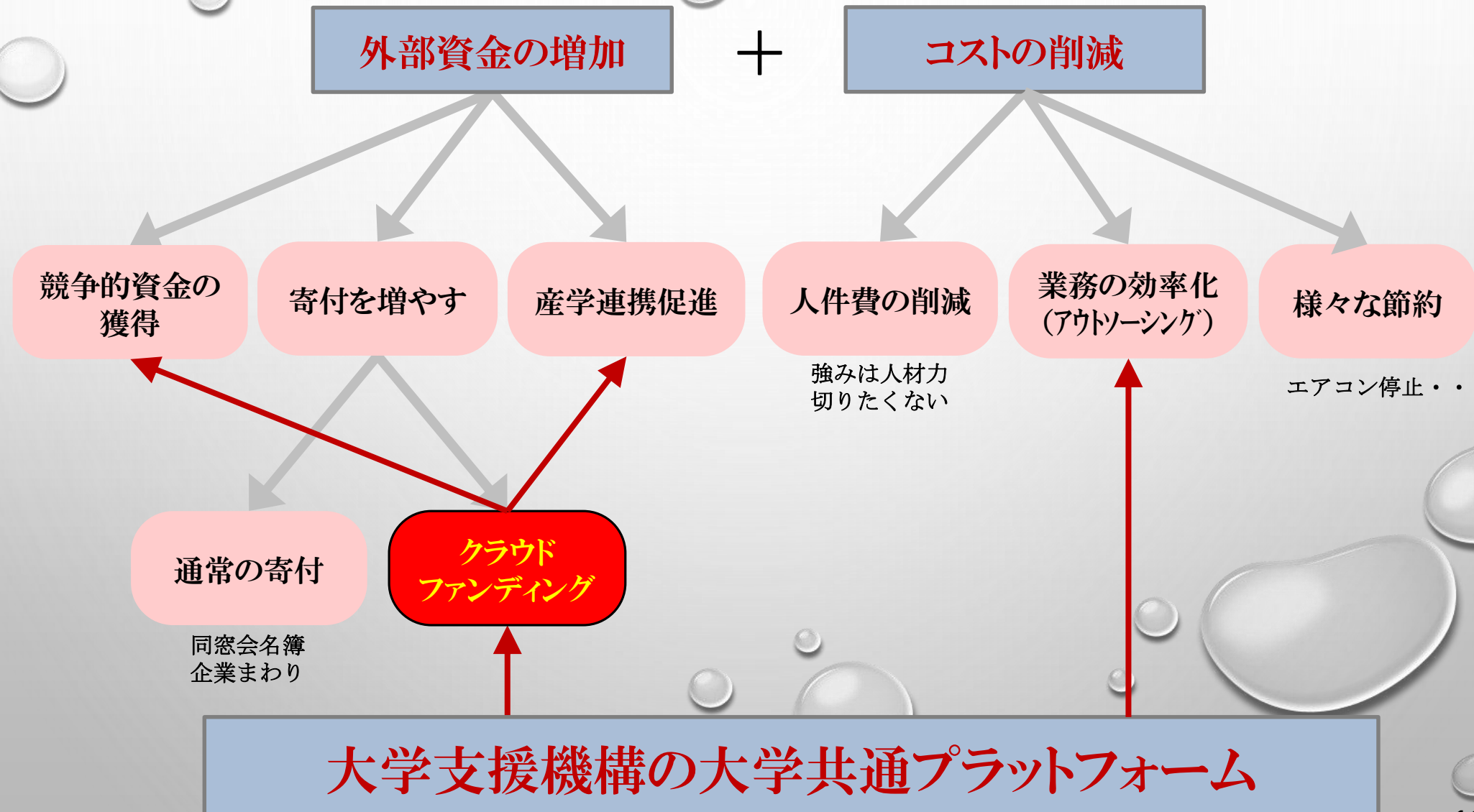
平成27年度 経常費用(億円)



※診療経費には、附属病院の教職員人件費含む

大学の共通課題

運営費交付金減少、教育・研究・社会貢献のコスト増の中で、国際競争力を高める必要



3つの重点支援枠

国立大学の第3期中期目標期間では、3つの重点支援枠を設定

①地域と特色分野の教育研究(地域) <55大学>

地域に貢献する取組み。強み特色ある分野で世界ないし全国的教育研究

②特色分野の教育研究(特色) <15大学>

強み特色ある分野で、地域というより世界ないし全国的な教育研究

③ 卓越した海外大学と伍した教育研究と社会実装(世界) <16大学>

卓越した成果を創出している海外大学と伍して、全学的に世界で卓越した教育研究、社会実装

国立大学の地域貢献

(文部科学白書より)

地域の発展における大学の役割・機能

近年、経済・社会が高度化・グローバル化する中、地域の発展を図る上で、「知の拠点」としての大学による地域貢献に大きな期待が寄せられています。

教育、研究、社会貢献の使命を果たし、
地域に認められ、支持される存在になること

②公開講座や高校への出前授業など正課教育以外の教育活動

③大学の人材の提供(審議会や講演会の講師活動等)

地域の大学ならではのローカルな強みを、
クラウドファンディングで活用

(1) 地方公共団体と連携

(2) 高等学校と連携

(3) 産業界と連携

国立大学におけるクラウドファンディング

- 製品やサービスの割引購入的な一般的なクラウドファンディングと異なり、支援者数や達成額の規模は1／10程度(数百万単位)
- 世界で卓越した研究開発を行うための大型の研究費(数千万以上)を全てまかなう存在にはならない
- 寄付文化が欧米に比べ低調な我が国において、大学支援の文化を醸成し、社会的寄付活動への意識を高めてもらうことが必要



- ① 半分は、通常の広報、アウトリーチ活動の一環として(関心層への更なるリーチ)
- ② 半分は、通常の小型研究費獲得の一環として

あまり追加作業が増えず、現在の体制の中で、やれることから始めること

通常業務＋アルファ

通常業務

- ・研究費の申請書を書く
- ・所属機関・組織の広報誌、パンフレット、ウェブサイト
の原稿を書く
- ・一般向けの講演、インタビューを受ける
- ・連携を求めて企業を回る、人脈作りをする



クラウドファンディング用にひと
手間加えるだけで、アウトリー
チ活動や研究費獲得の新しい
ルートが拓ける

科研費とクラウドファンディング

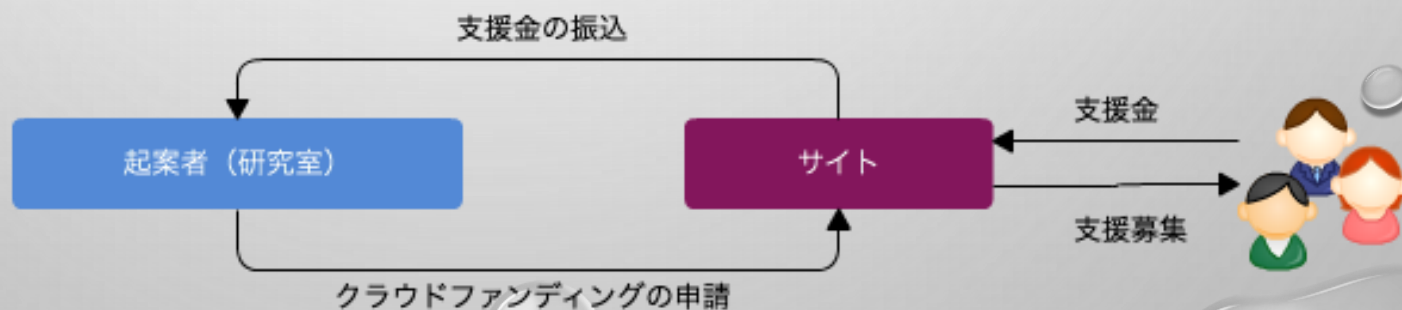
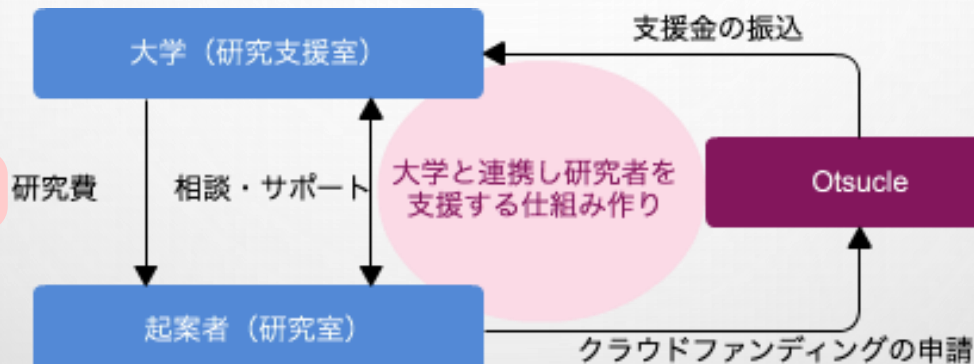
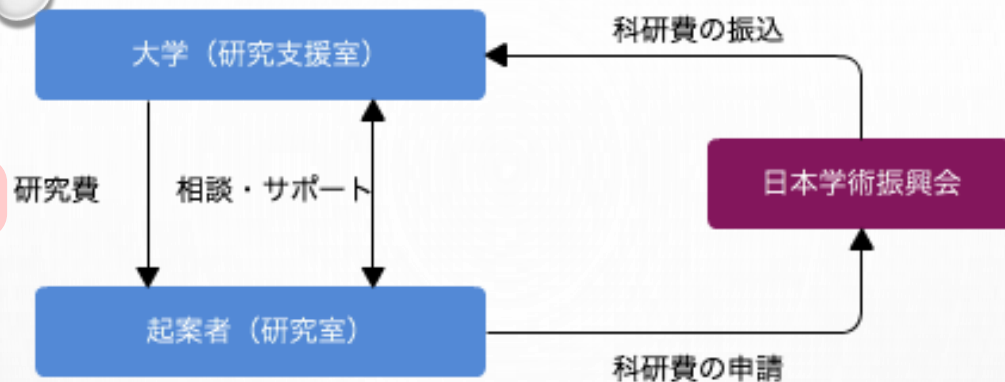
	科研費	クラウドファンディング	備考
応募時期	毎年9月～11月上旬	いつでも可	
待機期間・挑戦期間 (応募締切～採択)	約5か月	約2か月	
カバーする研究分野	全分野(例外あり)	全分野(教育・社会貢献も)	
獲得研究費	73万円／年(基盤C) 77.5万円／年(若手B)	50～100万円程度	基盤Cは5年、 若手Bは4年で計算(平均充足率を考慮)
研究費使用期間	3年～5年(基盤C) 2年から4年(若手B)	制限ありません	
査定者・評価者	審査委員 (→科学的な専門性)	一般の方 (→分かりやすさ・共感)	
図・写真・動画	なくても良い	必須(情報発信が最重要)	
科学的業績	必要	不要	

ほとんど同じ
仕組み

科研費

ひと手間

通常のCF



徳島大学のクラウドファンディングの取り組みについて

2016年4月 ～ 2016年10月

- ◆ 株式会社アカデミストと連携（アカデミスト社サイトで運用）
- ◆ 本学より4人の先生が挑戦（全て研究案件で目標も達成）



2016年11月以降

- ◆ 本学独自のクラウドファンディングサイトを立ち上げ
- <https://otsucle.jp/>
- ◆ 運用は(社)大学支援機構
 - ◆ 対象：教育・研究・社会貢献分野での大学研究者のプロジェクト
 - ◆ 町づくり団体、地域活性化プロジェクト



クラウドファンディング実績データ

(9/14時点)

プロジェクト件数	16件
総支援額	22,238,355円
総支援者数	1,291人
目標達成率	167.8%
平均支援額	1,389,897円
平均支援者数	80.6人

クラウドファンディング事例紹介① | 研究



味覚障害でもおいしく！抗がん剤副作用としての味覚障害のメカニズムを解明する



堤 理恵

徳島大学大学院 医歯薬学研究部 代謝栄養学分野

¥ 支援総額 787,000円

131%

👤 サポーター 41人 🕒 残り 終了

徳島大学医科栄養学科は日本で唯一、国立大学医学部の中にある栄養学科。堤先生は、抗がん剤の副作用による味覚障害のメカニズムを解明するための研究費をクラウドファンディングで募集。

募集期間中、患者さんの家族などから病院の窓口にも支援の申し出。目標金額が達成され、実験機器を購入することができ、臨床試験消耗品を購入する研究費を獲得。

若手研究者の研究費の獲得手段として、クラウドファンディングが効果的に活用された事例。

クラウドファンディング事例紹介② | 教育



徳島大学ソーラーカープロジェクト



徳島大学ソーラーカー
プロジェクト

徳島大学 工学部 創
成学習開発センター

¥ 支援総額 1,725,940円

115%

👤 サポーター 110人 🕒 残り 終了

徳島大学ソーラーカープロジェクトは、徳島大学工学部創成学習開発センターを活動拠点とし、大学の創造性教育の一環として学生たちがソーラーカーの製作に挑戦。

しかし、大学からの予算には限りがあるためクラウドファンディングで資金を集めることに。

その結果、クラウドファンディングで目標金額を達成するとともに、その活動に興味を持った企業もスポンサーになっていただくことに。

現在は、来年のソーラーカーレース出場に向けて鋭意活動中。

クラウドファンディング事例紹介③ | 地域貢献

目標達成!



日本のサクラ、モモを守る！クビアカツ
ヤカミキリ撲滅プロジェクト



中野 昭雄

渡邊

崇人

徳島県立農林水産総合
技術支援センター

¥ 支援総額 5,557,600円

185%

サポーター 248人 残り 終了

徳島大学生物資源産業学部との交流人事で徳島県で勤務している研究者が、外来種のカミキリムシから桜・桃の木を守るため、カミキリムシを駆除するための研究費をクラウドファンディングで募集。

県内の桃園の多くの木がカミキリムシの被害を受け深刻な問題となっており、さらに被害地域が拡大している現状。

このプロジェクトは地域の大きな課題を大学と県の研究者が協力して解決するためにクラウドファンディングが行われた事例。

徳島県では、地域の課題に対してクラウドファンディングが有効に活用できる案件がないかを検討し始めることになった。

OTSUCLE の利用料など

- ・賛助会員(大学) 最終達成額の15%
参考 academist 20% makuake 20%
 ReadyFor 17% JAPANGIVING 15%
 A-port 20%(目標額未達成の場合25%)
- ・賛助会員会費 無料
- ・賛助会員特典 利用料減額 20%→15%
 [まとめページ](#)作成料 5万円→無料
- ・クラウドファンディング プロジェクトを学内で内製できる賛助会員
 - コーディネート手数料 7% (大学への一般寄附)
 - OTSUCLE 手数料 8% (カード手数料含む)
 - 研究者への支援額 85% (大学への目的寄附)

見えてきた課題

- プロジェクトに**多数からの共感**が得られること、訴求力が必要(病気の克服、社会問題の解決、新たなテクノロジー・大きな夢の実現等)
- **本人が情報発信等を積極的に行い**、支援者がサイトを訪れ共感しなければ、絶対にネット決済に結びつかない
- **支援者への連絡**と社会への情報発信が必須 (**研究者個人の連絡できる範囲は全て**、学会、同窓会組織、関連産業界、地域社会)
- 一般社会には新聞(一般紙・業界紙)、放送などマスメディアはじめ、FACEBOOK、TWITTERなど大学側からも応援
- 購入型CFは特定商取引法や消費者契約法の管轄分野であり、国立大学の直営は不可
- 多くの大学が寄り添って、それぞれの支援層を一か所に集めることで、支援者がクロスオーバーでき、さらに新たな支援者層を呼び込むため大学専用的支援サイトが重要
- 個人からの支援では、**ネットでのカード決済でなく現金への対応も検討課題**。ネット視聴→カード決済は現実的にはハードルが高い
- 学生案件:学生同士に情報が発信出来ても、**若年層からの財政的な支援は期待薄い**

一般社団法人大学支援機構の設立主旨

ヒト・モノ・カネを繋ぐプラットフォームとして、大学経営に寄与するため設立

インターネットを活用して**ヒト・モノ・カネを繋ぐ**ことにより、

外部資金獲得、コスト削減推進をトータルに支援するプラットフォームを提供し、

日本全国の**大学の経営に寄与**する。

従来の大学

- リアルな世界での
リアルなヒト・モノ・カネの繋がり
⇒地理的、人脈的な制限(≡機会損失)
- 自前主義で大学専用に
システムや要員を確保
⇒コスト増の要因

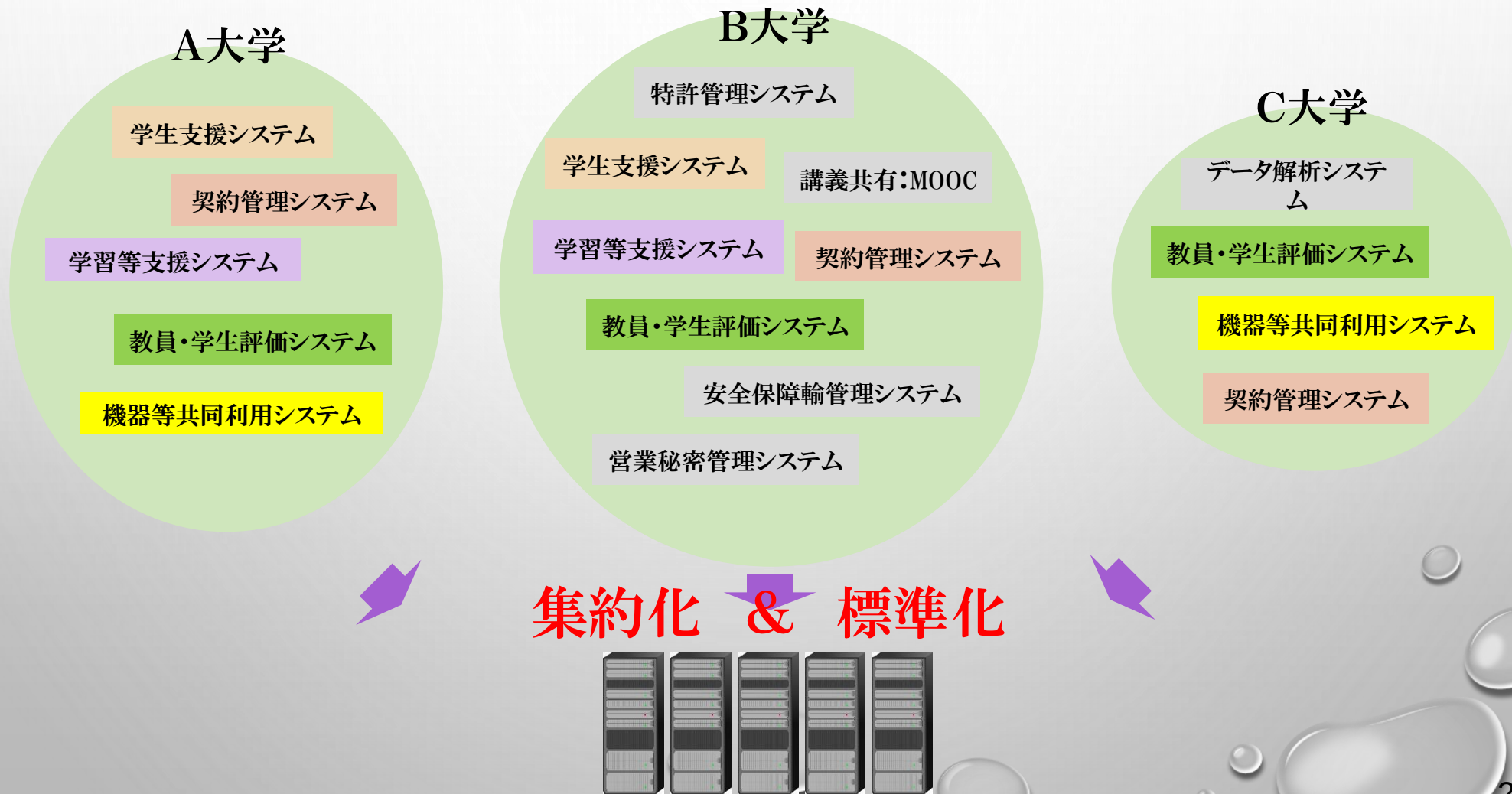


大学支援機構が目指す姿

- バーチャルな世界(インターネット)での
リアルなヒト・モノ・カネの繋がり
⇒全世界、個人に対象が拡大
- 必要な分だけ必要な
リソース(ヒト・モノ)を利用
⇒コストの適正化

大学が導入しているシステム

- 同じようなシステムを各大学が個別に導入、さらには担当業務／グループ毎にシステムを導入しており、集約化によるコスト削減効果が大きく見込まれる。



各大学（教育・研究・社会貢献） Onestopで大学の機能強化

- ・各大学が所有している基盤システムをプラットフォームにて共有化
- ・基盤システムの共同開発・共同利用による経費削減

アカデミック総合プラットフォーム

クラウド
ファンディング

クラウドソーシング

共同購入
販売システム

機器等
共同利用システム

教員・学生
評価システム

安全保障
輸出管理システム

講義共有：MOOC

データ解析システム

学習等支援システム

高大接続システム

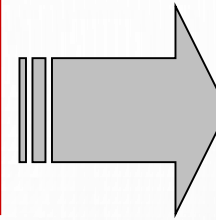
学生支援システム

その他：多数

- ・SBIRプログラムによるイノベーション

世界の人々、世界の大学、世界の企業、世界の団体等

あるべき姿
(ビジョン、戦略)



**組織の中には、誇りを
組織の外からは、憧れを**

バックキャスト

分析・検討

今やるべきこと

未来の理想の姿から遡って、
今からやるべき道筋を定める

現 状

フォアキャスト

どこに向かうのかわからない

現状問題点Aを解決する

現状問題点Bを解決する

本日お伝えしたいこと(再掲)

- 一般社団法人「**大学支援機構**」を作りました。
- **大学の使命を達成**するため、**大学共通の課題**に対応し**大学経営に寄与**するための組織です。**大きなビジョン**があります。
- そのための一つの手段として、**多くの大学と共有するためのクラウドファンディングの仕組み**を作りました。通常のクラウドファンディングサイトとは少し違います。
- 多くの大学が**一緒に動く必要**があります。**一緒にやりませんか**。ご関心があれば、ぜひご連絡ください。

ありがとうございました。

お問合せ先 一般社団法人大学支援機構
088-656-9854 <http://universityhub.or.jp/contact/>

